

# サーカス博覧会



志村静峯 絵看板 猿犬サーカス 1945～1955年頃

**2019年4月2日（火）－ 5月26日（日）**

開館時間：9:00 -17:00

休館日：4月8日(月)、15日(月)、22日(月)、5月13日(月)、20日(月)

入館料：一般900円（800円）、中高生または18歳未満600円（500円）、小学生400円（300円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※心身に障がいのある方と付添者1名は半額

※学校団体の場合、引率の方も児童・生徒と同料金となります

※常設展「原爆の図」もご覧いただけます

主催：サーカス博覧会実行委員会

（原爆の図丸木美術館、ポレポレタイムス社、新宿書房）

協力：鵜飼正樹（見世物学会会長、京都文教大学教授）、上島敏昭（大道芸、浅草雑芸団）、都築響一（写真家、編集者、ジャーナリスト）、林史樹（文化人類学者、神田外語大学教授）、見世物学会、浅草雑芸団、丸山工芸社

公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

# サーカス博覧会

2019年4月2日（火）－ 5月26日（日）

主催：サーカス博覧会実行委員会

（原爆の図丸木美術館、ポレポレタイムス社、新宿書房）

協力：鶴飼正樹（見世物学会会長、京都文教大学教授）、上島敏昭（大道芸、浅草雑芸団）、都築響一（写真家、編集者、ジャーナリスト）、林史樹（文化人類学者、神田外語大学教授）、見世物学会、浅草雑芸団、丸山工芸社

出品作家：澤田正太郎、丸木俊、本橋成一、スズキコージ

開館時間：9:00 -17:00

休館日：4月8日(月)、15日(月)、22日(月)、5月13日(月)、20日(月)

入館料：一般900円（800円）、中高生または18歳未満600円（500円）、小学生400円（300円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※心身に障がいのある方と付添者1名は半額

※学校団体の場合、引率の方も児童・生徒と同料金となります

※常設展「原爆の図」もご覧いただけます

この度、原爆の図丸木美術館では、企画展「サーカス博覧会」を開催いたします。

日本の近代サーカスの始まりは、軽業集団・曲馬団の一座が江戸時代末期に来日した外国サーカスの影響を受け形づくられたものです。軽業、足芸、曲馬（馬芝居）といった日本の伝統芸能を残しながら、日本独自のサーカス文化が花開き、またその文化は海を越えて朝鮮半島にも及びました。

本展では、近年のサーカスや見世物小屋を彩った絵看板やポスターなどの貴重な実物資料、記録映像などを多数展示。また、サーカスに惹かれ、その内外の姿をみつめた画家や絵本作家、写真家の作品も多数ご紹介いたします。サーカス創成期から集められたおよそ110点の作品をご覧いただき、その妖しくも豊かな世界をご体感ください。

## 作品紹介 | 第1幕 日本のサーカス

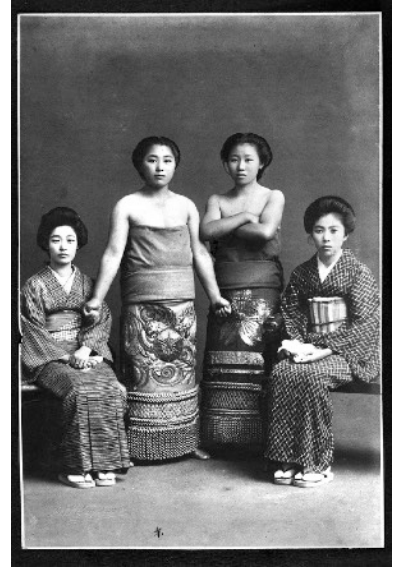
日本に始めてサーカスが訪れたのは1864年。1886年にはイタリアからきたチャリネ曲馬団が一世を風靡し、日本の曲馬団はしだいにサーカスを名乗り始めます。明治から昭和にかけて、全国的に庶民の娯楽として定着した日本のサーカスは、戦後ふたたび黄金期を迎えます。第1幕では、日本古来の曲芸を受け継いだサーカス一座を紹介。実際に使用していた絵看板やポスター、1950年から1960年のサーカスを描いた画家・澤田正太郎の絵画やスケッチなどを通して、今なお人びとの記憶のなかに生きる、遠くて近い、天幕の曲芸を浮かび上がらせます。



澤田正太郎 サーカステント | 1955年頃

## 作品介绍 | 第2幕 タカマチの見世物小屋、女相撲からサーカスへ

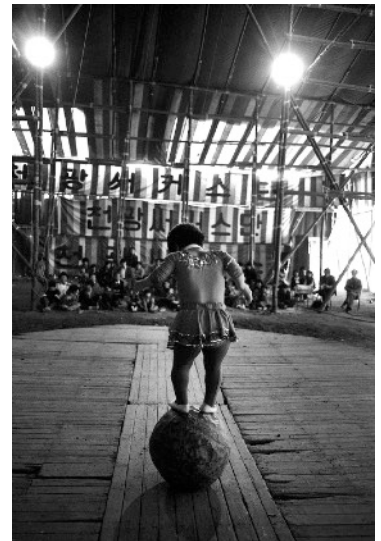
かつて全国各地の縁日・祭礼には、サーカス、お化け屋敷、見世物の天幕小屋、露天商が軒を連ねて立ち並びました。なかでも女相撲の女力士たちは、戦後は力持ちの芸・怪力をみせる女子プロレスや、サーカスの空中ブランコや綱渡り、猛獣ショウの演目を増やしながらい興行を続けました。第2幕では、サーカス・お化け屋敷・見世物興行の天幕を彩った、志村静峯、津崎雲山による絵看板をはじめ、女相撲一座・高揃女相撲を紹介します。



女相撲 複写資料より

## 作品介绍 | 第3幕 韓国のサーカス

炭鉱や屠場、大衆芝居や旅芸人、市井の人びとの生活を記録し続ける写真家・本橋成一は、1970年代より日本のサーカス、80年代より韓国のサーカスを取材しています。本展では韓国のサーカスを記録したシリーズを展開し、日本のサーカスが海峡を渡り隣国に残したサーカス文化・芸能を写し出します。



本橋成一 天光サーカス・韓国 1984

## 作品介绍 | 第4幕 絵本のなかのサーカス

天幕の円形劇場でくり広げられる曲芸、さながら渡り鳥のように旅から旅をくり返すサーカス一座は、芸術家たちに多くの想像力を与え、絵本のなかでは、愛嬌のある動物たちとともに、子供たちに親しまれてきました。第4幕では画家・丸木俊の『ぶらんこのり』、絵本作家・スズキコージの『ぼくのピエロ』の絵本原画を紹介します。



スズキコージ 『ぼくのピエロ』より 1980年頃

## 関連イベント

- 4月21日 講演「石丸謙二郎の語るサーカス（仮）」石丸謙二郎（俳優）他  
会場：原爆の図丸木美術館 時間：14：00～ 料金：無料 予約不要
- 5月18日 上島敏昭（浅草雑芸団）による大道芸  
会場：原爆の図丸木美術館 時間：13：00～ 料金：投げ銭 予約不要
- 5月18日 都築響一（写真家、編集者、ジャーナリスト）ギャラリートーク  
会場：原爆の図丸木美術館 時間：14：00～ 料金：無料 予約不要

## アクセス

### ●電車でお越しの場合

池袋駅より東武東上線急行で約1時間（東松山駅・森林公園駅・つきのわ駅）

※JR武蔵野線をお使いの方は北朝霞で降車、隣接する朝霞台駅から東上線に乗り換えると便利です。

森林公園駅より 3.5 km : タクシー12分（駅南口）、徒歩50分

東松山駅東口より

市内循環バス「唐子コース」運行「丸木美術館東」下車(1日6本、日祝休) 徒歩15分

つきのわ駅より 2.5 km、徒歩30分

### ●自動車でお越しの場合

関越自動車道、東松山インターより

小川方面10分



## お問い合わせ

### 公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

担当：岡村 幸宣（おかむら・ゆきのり） yo16marukimnsn@aya.or.jp

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401 TEL0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

<http://www.aya.or.jp/~marukimnsn/index.htm>

# 広報用画像

本プレスリリース内でご紹介した作品イメージについて画像（デジタルデータのみ）貸出しをしております。ご希望の場合は必要事項をご記入の上 FAX（0493-24-8371）または Eメール（[yo16marukimnsn@aya.or.jp](mailto:yo16marukimnsn@aya.or.jp)）にてお申し込みください（担当：岡村）。

### 【お取り扱いについてのお願い】

- (1) クレジット表記は画像の下にあるものを必ず表記ください。
- (2) 画像データは、本展紹介以外の目的で使用しないようお願いいたします。
- (3) 画像データを第三者に渡すことはできません。使用后、データは消去してください。
- (4) 作品画像はトリミング不可です。一部のみの使用や、作品に文字を重ねること、着色はできません。
- (5) 掲載誌一部を原爆の図丸木美術館までご送付ください。

①



志村静峯 絵看板 猿犬サーカス 1945～1955年頃

②



澤田正太郎 サーカステント | 1955年頃

③



本橋成一 天光サーカス・韓国 1984年

掲載号／日

貴社名

ご担当者様

TEL

FAX

EMAIL

ご住所

資料お届け期限